

中小企業の支援求め 振興会議が意見書

八戸市へ提出

八戸市中小企業・小規模企業振興会議（会長・堤静子八戸学院大地域経営学部特任教授）は14日、中小企業の経営基盤強化の促進や、事業承継に向けた関係機関の連携、外国人材との共生など求める意見書を市に提出した。

同会議は市中小企業・小規模企業振興基本条例に基づく市の付属機関。条例に掲げた基本方針に基づき、市が進める事業の効果を検証し、改善点や新規に取り組むべき事項をまとめた。意見書には、経営基盤強化に向けた事業継続計画

（BCP）の策定促進や融資制度の利便性向上、企業の規模に応じて活用できる施策事業の情報発信などを盛り込んだ。

同日、市庁を訪れた堤会長が熊谷雄一市長に意見書を手渡した。

熊谷市長は「これに基づいて市の施策を講じていく」と述べた。堤会長は取材に「全般的に中小企業の支援策をしっかりと取り組ん

でほしい。人材確保が課題となる中、育成に力を入れてもらえれば」と強調した。

（柴田佳弥）



熊谷雄一市長（右）に
意見書を提出する堤静
子会長14日、八戸市
庁